

# 千葉県市川市 ナグモ産業株式会社

## 「一つとして」「同じ」がない「精密機器輸送」

### 宇宙の夢が詰まった「はやぶさ2」カプセル

小惑星探査機「はやぶさ2」から分離・大気圏へ再突入したカプセルが、オーストラリアで回収され、航空機で東京・羽田空港まで輸送された。昨年12月8日朝のテレビニュース生中継映像に見入った方も多かろう。

「お客様から『はやぶさ2』のカプセルを運んでほしい」と連絡を受けた宮原専務は、約32年かかっています。その中でも特に貴重な体験でも、必ず複数人で持つことを徹底し、通常より丁寧な扱いに努めました。

「通常の精密機器輸送では、製品に不規則な突起物があったり、梱包方法や荷扱いが大変だったりと制約が多いのですが、今回の再突入カプセルについては形状的に扱いやすかった。これまで扱った経験がないほか、なんと、いまままで世界に一つしかないだけで、万が一にでも事故が起これば、貨物を取り返しのつかない、本当に貴重な貨物でした。平常心を保ちながらも、いつも以上に細心の注意を払って荷扱い、そしてトラックにはエアサスがついていて、道路の突起を乗り越えても振動を吸収して荷物が衝撃を受けないよう、路面状況を意識して、落下物も回避したほか、先行車の先の先や、側方、後方にも気を配り、もらい事故を防ぐ運転に努めました。また、沿道で見守ってくださっている皆さんの目もありましたので、全国の『トラック運送事業者・ドライバーの代表』として恥ずかし



南雲 誠 代表取締役



宮原 廣道 専務取締役

「12月8日は午前5時30分に羽田空港に集合することになっており、弊社出発時間を午前4時30分に合わせ、前日から決めましたが、前日から緊張で二睡もできず、午前2時には会社へ向かい、車両やテールゲートなどの点検を行いました。亀岡ドライバーも予定時間より早く出社してきて、弊社を出発したのが午前3時過ぎ、羽田空港に着いたのが4時過ぎで、予定よりも1

は、勤続17年のベテラン物流事業部特殊輸送課の亀岡功一ドライバーと、助手を務めた宮原専務専務取締役の2人である。宮原専務によると、同社へ「はやぶさ2」再突入カプセルの輸送依頼の打診があったのは、昨年11月半ばのことだった。

「この日も緊張しましたが、『荷卸し完了までが我々の仕事』と、緊張の中にも気を引き締めてグレート操作を完了し、カプセルは無事搬入棟に運ばれました。今回の輸送は、『はやぶさ2』の52億円の輸送の最後を引き継ぎ、我々はたった50数分でしたが、無事に届けられたことは運送事業者として、とても誇りに思います。『はやぶさ2』は、カプセルを地球に届けた後、次の任務へと移行しましたが、次に地球に帰還した際には、また国内輸送を担当できればと思っています。」(宮原専務)

「『ごでも緊張しましたが、無事に完了することができたからこそ言えるのですが、当初、前例のない輸送に、貨物保険もどらくらいになるのか、それ以前に貨物保険自体に加入できるのかなど、全てが予想もつかない業務でしたが、社員一同むとむと取り組んでくれました。父の時代から『困ったときのナグモ産業』を経営理念として、私が社長になった今でも社員全員が実践し続け、お客様の信頼を得た結果だと思います。今後も日々研鑽を重ね、対応力、技術力を磨き、『困ったときのナグモ産業』を実践し続けていきます。」

#### 南雲社長に「こころ」が聞きたい!

「今回のミッションを達成したことで、いかがですか?」  
「無事に完了することができたからこそ言えるのですが、当初、前例のない輸送に、貨物保険もどらくらいになるのか、それ以前に貨物保険自体に加入できるのかなど、全てが予想もつかない業務でしたが、社員一同むとむと取り組んでくれました。父の時代から『困ったときのナグモ産業』を経営理念として、私が社長になった今でも社員全員が実践し続け、お客様の信頼を得た結果だと思います。今後も日々研鑽を重ね、対応力、技術力を磨き、『困ったときのナグモ産業』を実践し続けていきます。」



ナグモ産業(株)は、昭和56年に南雲誠社長の実父である南雲勝利氏が設立。創業当初は航空貨物輸送を主としていたが、エアサスペンション、空調設備、テールゲートリフトなどの装備を導入し、次第に重量物の精密機器輸送へ特化。現在は、半導体関連装置、医療機器、印刷機器、光学機器、およびその他の周辺機器など、あらゆる重量物、精密機器の輸送・搬入・据え付け・移設作業を行って、千葉県市川市に本社を構えるほか、成田営業所、成田空港事務所、京葉物流センターなどを開設、同社が扱う貨物の保管等の機能も持つ。また同社では、精密機器輸送の特殊性から、平成15年にはISO9001・2000を取得したほか、17年

「世界初の試みの成果」経験のないカプセル輸送。今回は、小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウから表面物質を採取した「サンプル採取装置」を、大気圏再突入時の熱から守り、地上へ無事に届けるための地球帰還(再突入)カプセル。カプセルは、堅牢なジェラルミン製の輸送用容器に封入された。

「12月8日は午前5時30分に羽田空港に集合することになっており、弊社出発時間を午前4時30分に合わせ、前日から決めましたが、前日から緊張で二睡もできず、午前2時には会社へ向かい、車両やテールゲートなどの点検を行いました。亀岡ドライバーも予定時間より早く出社してきて、弊社を出発したのが午前3時過ぎ、羽田空港に着いたのが4時過ぎで、予定よりも1

「通常の精密機器輸送では、製品に不規則な突起物があったり、梱包方法や荷扱いが大変だったりと制約が多いのですが、今回の再突入カプセルについては形状的に扱いやすかった。これまで扱った経験がないほか、なんと、いまままで世界に一つしかないだけで、万が一にでも事故が起これば、貨物を取り返しのつかない、本当に貴重な貨物でした。平常心を保ちながらも、いつも以上に細心の注意を払って荷扱い、そしてトラックにはエアサスがついていて、道路の突起を乗り越えても振動を吸収して荷物が衝撃を受けないよう、路面状況を意識して、落下物も回避したほか、先行車の先の先や、側方、後方にも気を配り、もらい事故を防ぐ運転に努めました。また、沿道で見守ってくださっている皆さんの目もありましたので、全国の『トラック運送事業者・ドライバーの代表』として恥ずかし



小惑星探査機「はやぶさ2」が分離・大気圏再突入したカプセルを運んだ同社のトラック

#### 精密機器輸送車の装備



**会社概要**  
ナグモ産業(株)  
(代表取締役 南雲 誠)

千葉県市川市原木2-11-15  
昭和56年5月1日  
1,000万円  
40人(うちドライバー26人)  
27台

本社 本資金数  
本設資 本資金数  
車 本資金数

http://www.nagumo-sangyo.co.jp/